

優良賞

木田小学校5年

池田早希さん

●研究テーマ

ヨーグルトのふたのひみつ パート2

動機

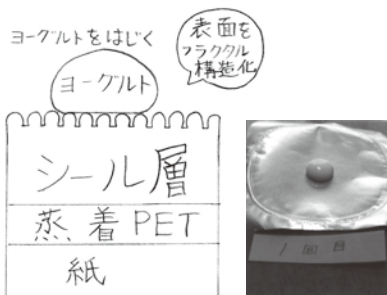
昨年の研究後に①ヨーグルトのふたにヨーグルトがくっつかないのはなぜか、②その効果はいつまで続くのかという疑問がわいたため、この研究を行った。

内容

研究①ふたのうらを観察したり、開発した会社のホームページで調べた。ふたには無数の凹凸があり、これがヨーグルトをはじかせるひみつだとわかった。(図1)

また、このふたは、はすの葉のはっ水性をヒントに開発されており、実際のはすの葉で、はっ水の実験を行った。

研究②ふたにヨーグルトをたらす→流すをくり返し、はじき方やつぶの形、流れ落ちる速さなどがどう変わっていくかを比べた。(写真1)



(図1)

(写真1)

まとめや感想

私達は、日々の生活の中でこのヨーグルトのふたのようなびっくりするアイデアを取り入れた物を使っている。そのアイデアも、自然の中からヒントをもらってできているのですごいと思った。また、ハスの葉だけでなく他の植物も、自然の中で生きぬくために、いろいろな特色をもっているということを感じた。

優良賞

宝永小学校5年

工藤菜津さん

●研究テーマ

私の町のセミ

動機

福井駅前の街路樹の根元に不思議なあながあり、その近くカラのまま動くセミを見つけたことがきっかけで、セミの観察に取り組んだ。

内容

○セミの羽化の観察…セミ1匹を持ち帰り、家で観察を始めた。日時、気温、セミの様子、ぬけがらの数など細かく観察し記録をとった。

○セミのいる木はどの木か…他の街路樹や学校の木を見て、あなやぬけがらがあるか調べた。

○セミのあなはどうなっているか…セミのあなの深さや大きさ、あなの様子を竹串やものさしを使って調べた。

○この木からいったい何匹飛びたつのか…ABCの3地点を決めて、7日間、セミのぬけがら集めを行った。地点ごとにぬけがらの数をグラフに表した。

まとめや感想

セミのぬけがらを集めて気がついたことは、7月の終わりはアブラゼミ、8月の初めはミンミンゼミ、8月の終わりごろはツクツクボウシなど、ぬけがらの種類がちがっていることだ。聞こえてくるセミの鳴き声も種類によって時期がずれていて、ぬけがらと鳴き声が一致しているなどと思った。